

〔長久手町業務評価票：平成 18 年度業務〕

課係NO・業務NO	-	総合計画	3節132項	児童健全育成事業の充実
担当課・係名	児童課 児童係【問合せ・質問等の先(内線番号) 182 番】			

業務の名称	児童館管理運営業務																																							
(1)根拠法令・条例	児童福祉法 長久手町児童館の設置及び管理に関する条例																																							
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 24.7 % (系の総業務量を 100%とする) 職員延人数: 734.5 人・日 (臨時雇用者延人数: 1,911.0 人・日)																																							
(3)事業費 (人件費分を除く)	21,399 千円 (平成18年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))																																							
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	0.0 % (平成18年度実績)																																							
(5)業務期間	開始した年度	昭和49年度	終了(予定)年度	年度																																				
(6)業務の概要(簡潔に箇条書きで記載)																																								
業務目的(達成目標)	児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、異年齢児、地域との交流の場とすることを目的とする。																																							
業務が対象とする住民(地域、層)	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童。																																							
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> 親子で遊ぼう教室(年5回、満2、3歳児及び保護者対象、レクリエーション、情報交換) ネイチャー探検隊(年7回、小学生対象、自然観察会) 陶芸教室(年1回、小学生対象、県陶磁器資料館) お楽しみ遠足(年1回、小学生対象、おかざき自然体験の森) 幼児教室(5児童館各月1回、未修学児童及び保護者対象) 																																							
業務の実施結果 (平成18年度実績)	親子で遊ぼう教室について、5回のうち1回を土曜開催とし、母親のみならず父親が参加しやすい環境を整えた。予算や人員の増減はなし。																																							
	【業務結果の説明指標】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度実績</th> <th>19年度目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>親子で遊ぼう教室</td> <td>年4回</td> <td>年5回</td> <td>年5回</td> <td>年6回</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ネイチャー探検隊</td> <td>年6回</td> <td>年7回</td> <td>年8回</td> <td>内容充実</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>陶芸教室</td> <td>年1回</td> <td>年1回</td> <td>年1回</td> <td>年2回</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>お楽しみ遠足</td> <td>年1回</td> <td>年1回</td> <td>年1回</td> <td>内容充実</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>幼児教室(児童館5館毎月1回、8月除)</td> <td>年55回</td> <td>年55回</td> <td>年55回</td> <td>内容充実</td> </tr> </tbody> </table>					結果の説明指標		17年度	18年度実績	19年度目標	将来目標	1	親子で遊ぼう教室	年4回	年5回	年5回	年6回	2	ネイチャー探検隊	年6回	年7回	年8回	内容充実	3	陶芸教室	年1回	年1回	年1回	年2回	4	お楽しみ遠足	年1回	年1回	年1回	内容充実	5	幼児教室(児童館5館毎月1回、8月除)	年55回	年55回	年55回
結果の説明指標		17年度	18年度実績	19年度目標	将来目標																																			
1	親子で遊ぼう教室	年4回	年5回	年5回	年6回																																			
2	ネイチャー探検隊	年6回	年7回	年8回	内容充実																																			
3	陶芸教室	年1回	年1回	年1回	年2回																																			
4	お楽しみ遠足	年1回	年1回	年1回	内容充実																																			
5	幼児教室(児童館5館毎月1回、8月除)	年55回	年55回	年55回	内容充実																																			
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	親子で遊ぼう教室について、5回のうち1回を土曜開催とし、母親のみならず父親が参加しやすい環境を整えた。予算や人員の増減はなし。																																							
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>17年度実績</th> <th>18年度実績</th> <th>19年度目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>親子で遊ぼう教室</td> <td>年4回</td> <td>年5回</td> <td>年5回</td> <td>年6回</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ネイチャー探検隊</td> <td>年6回</td> <td>年7回</td> <td>年8回</td> <td>内容充実</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>陶芸教室</td> <td>年1回</td> <td>年1回</td> <td>年1回</td> <td>年2回</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>お楽しみ遠足</td> <td>年1回</td> <td>年1回</td> <td>年1回</td> <td>内容充実</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>幼児教室(児童館5館毎月1回、8月除)</td> <td>年55回</td> <td>年55回</td> <td>年55回</td> <td>内容充実</td> </tr> </tbody> </table>					成果の説明指標		17年度実績	18年度実績	19年度目標	将来目標	1	親子で遊ぼう教室	年4回	年5回	年5回	年6回	2	ネイチャー探検隊	年6回	年7回	年8回	内容充実	3	陶芸教室	年1回	年1回	年1回	年2回	4	お楽しみ遠足	年1回	年1回	年1回	内容充実	5	幼児教室(児童館5館毎月1回、8月除)	年55回	年55回	年55回
成果の説明指標		17年度実績	18年度実績	19年度目標	将来目標																																			
1	親子で遊ぼう教室	年4回	年5回	年5回	年6回																																			
2	ネイチャー探検隊	年6回	年7回	年8回	内容充実																																			
3	陶芸教室	年1回	年1回	年1回	年2回																																			
4	お楽しみ遠足	年1回	年1回	年1回	内容充実																																			
5	幼児教室(児童館5館毎月1回、8月除)	年55回	年55回	年55回	内容充実																																			

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
・児童の安心で安全な環境づくりの観点から現在の人的配置では限界を感じる。

(8)改善実績（過去3年間の実績）
・17年度から、児童館を従来の昼1時間（12時～1時）休館から1日を通して開館とした。 ・17年度から、留守家庭児童に対し、土曜及び夏休み等の開館日に申請により、昼食持参を可とした。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	2 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	4 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3 点
		平均 3.0 点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） 4. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
評価理由	児童館管理運営は、行事の実施について従来からのまんねり、硬直化を考慮し、よりよいかたちで現在の児童を取り巻く環境を見据えながら、改良、改善を行っていきたい。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
児童館管理運営は、行事の実施について従来からのまんねり、硬直化を考慮し、よりよいかたちで現在の児童を取り巻く環境を見据えながら、改良、改善を行っていきたい。 具体的には、(6) の親子で遊ぼう教室についての記載のような、住民ニーズ、有効な子育て環境づくりを観点とした改善を目指す。